



おめでとうございます

危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章

消防功労

坂本輝男さん（豊岡町五良野）

／ まちの話題 ／



中学3年生のみなさん



9月30日
FRI
表敬訪問

三島東中学校 吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール出場

△8月27日に開催された全日本吹奏楽コンクール四国支部大会（高知県民文化ホール）では、堂々たる演奏を披露し見事金賞を受賞し、全国大会（名古屋国際会議場）への出場を決めました。コンクール70年の歴史の中で、全国大会出場は、本市のみならず東予地区の中学・高校の部門で初となる快挙です。部長の大和田陽愛さん（トロンボーン）は「部員全員の心を一つにして、全力で挑みます」と話しました。

▽松柏小学校金管バンド部は、全日本小学生バンドフェスティバル四国支部大会に出場し、金賞を受賞。11月19日に開催される全国大会（大阪城ホール）に出場します。また同校は、9月25日に開催されたRNBこども音楽コンクールでも管楽合奏部門で金賞を受賞するなど輝かしい成績を収めています。部長の山下萌依さん（トロンボーン）は「悔いの残らないような演奏をしたいです」と大会に向け意気込みを話しました。

松柏小学校 金管バンド部

全日本小学生バンドフェスティバル出場
こども音楽コンクール出場

小学6年生のみなさん





9 29
THU
表敬訪問

3

1 着付の正確さや帯結びのバランスなどが審査される全国きもの着付コンクール（東京都北区王子）の中振袖部門に出場した兵政代さん（妻鳥町）が、最優秀賞第1位に輝きました。

2 900歳を超える標高で開催された別子・翠波はな街道サイクリング。県内外から60名が参加し、自然豊かな景観と地元のおもてなしを楽しみ、全長94・3キロメートルを駆け抜けました。

3 三島南中3年の飛鷹心暖さん（四国中央アスリートクラブ）が、U16女子4×100リレーで愛媛選抜メンバーに選ばれ、リレーファースティバルに出場することを市長に報告しました。



9 5
MON

1



10 2
SUN

2



10 13
THU

ウクライナの歌姫

ナターシャ・グジー 「希望の台地」 チャリティツアー

Charity For UKRAINE 47

しこちゅーホールで、民族楽器バンドウーラを奏でるのは、日本とウクライナの文化の懸け橋になりたいと全国で活動するナターシャさん。「二人でも多くの人にウクライナを好きになつてもらいたい」と願いを込め、日本や母国ウクライナの曲など全10曲を披露。収益はウクライナへの人道支援のために寄付されます。

ご寄付ありがとうございました

詳細は、HPで紹介しています



10 11
TUE

脱炭素推進のために

川之江ロータリークラブ
宮内哲也 会長



10 5
WED

地方創生の取り組みへ

日本たばこ産業（株）
大塩修一 愛媛支社長



10 3
MON

認知症の早期発見・治療に

明治安田生命
岸本正宏 松山支社長



9 28
WED

妊婦支援のために

（株）ベストム
山内一正 代表取締役



9/28 WED
教育委員に
石川直子氏が就任 3



9/20 TUE
2



9/23 FRI
1



10/7 FRI

本市で始まった電子図書館（詳細8ページ）を充実するため、ユニ・チャームから企業版ふるさと納税の寄付がありました。

Next! 手話言語の国際デー Shikokuchuo

- 1 国連が制定した9月23日の「手話言語の国際デー」にちなみ、「手話が言語である」ことを多くの人に知ってもらおうと、川之江城やしこちゅーホールなどを世界ろう連盟ロゴカラーのブルーにライトアップしました。
- 2 川之江信用金庫と「地域創生に関する包括連携協定」を締結。日浦博基理事長は「当金庫の強みを活かし、地域を守り、活性化に貢献していきたい」と話しました。
- 3 三島小学校校長などを歴任し、この度、本市教育委員に就任した石川直子委員。就任式では「役割を十分に果たすことができるよう真摯に取り組んでいきます」と話しました。任期は4年。

市長の

ひとりごと

秋から冬を元気に乗り切ろう



四国中央市長
篠原 実

「暑いな」と、ばやきながら雨の降らないお空を恨めしく見ながら起きていた。体を少しでも移動すれば、よいっしょと声にならない声を出している。朝からそれに気づいて苦笑である。今年も台風の雨に助けられた。風の被害が出ているが、水の恩恵は計り知れない。村松のお大師さまと裏のお地藏さんに、気持ちお賽銭をはずんで、手を合わせ感謝である。今年は担当部署の職員さんと相당한覚悟をしていた。

「暑いな」と、ばやきながら雨の降らないお空を恨めしく見ながら起きていた。体を少しでも移動すれば、よいっしょと声にならない声を出している。朝からそれに気づいて苦笑である。今年も台風の雨に助けられた。風の被害が出ているが、水の恩恵は計り知れない。村松のお大師さまと裏のお地藏さんに、気持ちお賽銭をはずんで、手を合わせ感謝である。今年は担当部署の職員さんと相당한覚悟をしていた。

そういいながら秋祭りも終わり、周りの樹木が寒さの準備に入っている。渾身の危機は冬が本番であるが、四季折々、喜怒哀楽の連続であり、起こりうる日常はまあいいかと、できる限り鷹揚に構えて元気を出してがんばるのがいい。

